

況を反映しています。く
なっており、「こ」最近の経済の状

建設産業内の 職種転換をサポート

～技能研修と職業紹介～

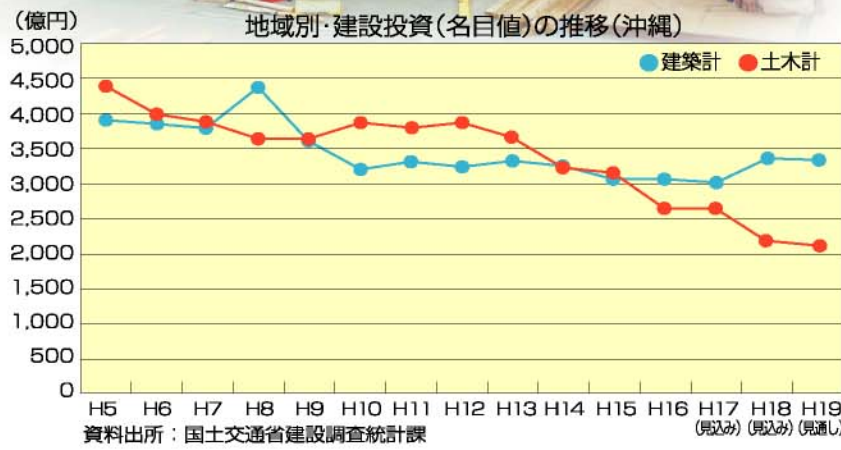
建設産業は、全国的に大きな転換期を迎えています。建設投資額は15年前と比べ約35%も減少し、特に土木投資額は公共工事費の削減等で約50%の大幅な減少となっています。そのため、それぞれの企業が従来と同様の形で存続することは困難になってきており、産業全体の構造転換が求められています。



技能検定の様子

県と産業団体の取り組み
建設産業内において求人の方が多い分野と少ない分野がありますが、土木業に従事する労働者や求職中の技能労働者が型枠工事や鉄筋工事など求人の方が多い分野の技能を身につけて職を得ることは、この厳しい雇用情勢の改善に有効です。そこで、県は、技能労働者が職を得て働き続けることができるよう(社)沖縄県建設業協会との共催で「建築躯体工事の技能研修」を実施することになりました。

また、建設業協会に隣接する「沖縄建設労働者福祉センター」内に相



建設産業は「ものづくり産業」であり、住宅、オフィスビル、道路、湾港などの提供によって私たちの生活や産業活動を支えています。また、地域において経済・雇用を支える重要な産業となっており、沖縄県においても全就業者の約1割を占めるなど基幹産業として重要な役割を

建設産業の役割

- #### 技能研修の概要
- 建築躯体工事技能研修
 - 図面基礎・RC図面作成(建築製図(読図)、建築製図、施工図作成)
 - 基本測量(レベル測定)
 - 鉄筋作業(鉄筋加工組立)
 - 荷役機械(玉掛技能講習)17未満)
 - 型枠作業(基礎施工、型枠施工図作成、型枠加工・組立作業)
 - 定員：二十五人/一回
 - 期間：一カ月半/二カ月
 - 平成二十年度は四回開催予定



談室を設け、職業紹介事業を行い研修者や求職中の土木技能者の方々への情報提供や就労をサポートします。どうぞご活用ください。

- #### 用語解説
- ※1 公共投資：国・地方公共団体・公的企業が道路、住宅、公園など社会資本整備のために行う投資。景気対策のために拡大されることがある。
 - ※2 労働市場：労働力を取引商品にみたてて形成される抽象的な市場。労働者と使用者の需要と供給によって影響される。
 - ※3 民間需要：民間最終消費支出、民間住宅投資、民間企業設備投資、民間在庫増加を合わせたものをいいます。
 - ※4 新規求人倍率：ハローワークで登録された新規求人数を新規求職者数で割ったもの(新規とはその月に新しく受け付けたということ)。
 - ※5 建築躯体工事：建物の骨組みや強度にかかわる部分の工事のこと
 - ※6 型枠工事：鉄筋コンクリート工事でコンクリートを流し込むための鑄型を作る工事

お問い合わせ

沖縄県建設業協会

TEL:098-876-5211
FAX:098-870-4565

建設投資額は全体として縮小する傾向にあります。しかし、近年の公共投資の減少や受注環境の悪化に伴い、解雇者数が増加するなど、労働市場においても厳しい状況となっています。

建設業をとりまく状況の変化

建設投資額は全体として縮小する傾向にありますが、もう少し細かくみると土木と建築の投資額の推移は若干異なる動きがみられます。土木の投資額は公共事業の減少に伴って右肩下がりであるのに対し、建築の投資額は平成十年まで右肩下がりであったのが、景気の回復と共に活発化した民間需要に牽引され横ばいで推移しています。これは、公共工事の減少によって道路建設など土木業における市場規模が縮小傾向にある一方で、マンション建設、ホテル、商業施設の建設などには堅調な動きがあったためです。

労働市場においても、たとえば土木の平成十九年の新規求人倍率は0.45倍となっていますが、鉄筋コンクリート建築工事の骨組みをつくる建築躯体工事では2.67倍と高

お問い合わせ【県雇用労政課】 TEL.098-866-2366 FAX.098-866-2355